



2021年2月1日

小松市の車両管理業務およびコスト削減への取り組みについて ～社用車管理アプリケーション『Mobility Passport』を導入しました～

小松市は、株式会社北國銀行（本店：石川県金沢市、取締役頭取：杖村修司、以下「北國銀行」）と締結している「包括連携協定」に基づき、公用車の管理業務を北國銀行の子会社である北国総合リース株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：中西顕、以下「北国総合リース」）に委託しておりますが、この度、さらなる車両管理業務の削減及び車両コストの削減を目指すため、住友三井オートサービス株式会社（本社：東京都新宿区、取締役社長：露口章、以下「SMAS（エスマス）」）の100%子会社である、SMAサポート株式会社（本社：東京都新宿区、取締役社長：露口章、以下「SMAサポート」）が提供している社用車管理アプリケーション『Mobility Passport』を1月1日よりトライアルとして導入しましたので、お知らせいたします。

小松市は、2016年12月19日に北國銀行と「包括連携協定」を締結し、小松市の地方創生、業務効率化をはじめとした行政改革の一環として、2020年4月より、車両の管理業務を委託し、重複業務の削減、人件費の削減、車両の維持管理費の削減を目指していますが、現場では公用車を利用するごとに手書きで運転日報を作成するなど一部アナログな運用も残っており、また課単位で公用車を管理しているため、公用車1台ごとの利用状況を一元的に把握することが難しいことなどの課題がありました。

そこで小松市は、このような課題を解決できるソリューションとして、SMASが開発し、SMAサポートが提供する社用車管理アプリケーション『Mobility Passport』をトライアルで導入し、スマートフォン等を使って公用車の予約管理や日報作成を行うことで、ペーパーレス化による事務作業削減や公用車の利用状況の把握に取り組んでいきます。

トライアルで導入する、『Mobility Passport』は、スマートフォン等から社用車の予約ができるほか、運転日報や社用車の稼働実績をデジタルで管理でき、乗務する職員と、管理部門の職員の双方にとって業務改善に繋がる機能を持ち合わせた、Business MaaS アプリです。

小松市では、将来的に、『Mobility Passport』から取得した1台ごとの稼働データを活用し、利用状況に応じた適正な公用車台数を割り出すなど車両台数の最適化を行い、公用車全体の台数削減効果を検証する予定です。公用車の台数を適正化することで、車両に関わる歳出の削減だけでなく、地球温暖化の原因となる排出ガス削減や車両を管理する職員の労働時間短縮にも繋げていく予定です。

北國銀行、北国総合リース、住友三井オートサービスおよびSMAサポートでは、北國銀行のもつ地域社会とのコミュニケーションを基本としたコンサルティング機能、北国総合リースのもつ自動車リース、住友三井オートサービスおよびSMAサポートのもつモビリティ関連ソリューションを四社が連携をしながら進めていくことで、地域社会の発展に貢献し、カーボンニュートラルの実現を目指してまいります。